

## 9 地域拠点空港（広島空港）の機能強化等について

（国土交通省）  
（中国地方整備局）

### 提案の要旨

**国際化の進展並びに地域振興に大きく寄与するための、地域拠点空港である広島空港の機能強化、国際航空ネットワークの充実**

### 現状及び課題

#### 【現状】

広島空港は、施設、機能面だけでなく、旅客数、貨物取扱量ともに中国・四国地域最大の空港であり、名実ともに、中国・四国の地域拠点空港として発展している。

国際線については、昨年10月にそれまでのソウル線、台北線に加えて上海線がデイリー運航となるなど、アジア・太平洋地域へ全部で7路線が就航し、航空路線が充実してきている。また、国内線においては、成田線の就航により、欧米等へのアクセスも容易であるなど、広島県及び隣接地域の国際化の進展と地域振興に寄与していくものと期待されている。

このため、空港機能を更に強化するとともに、国際航空ネットワークの一層の充実に取り組んでいる。

#### 【課題】

定時性の確保

特に東京便は、平成18年の旅客数は全国で5番目であるが、梅雨時等の霧による視程不良により季節的に就航率等が大きく低下しており、欠航や遅延による経済的な影響は非常に大きいため、計器着陸装置の高度化事業の早期完成が課題となっている。

国際定期路線の拡充等

国際航空ネットワークの拡充を図るためには、既設路線の増強、新規路線の開設に向けた航空交渉などの条件整備の促進が必要となっている。

### これまでの取組状況及び前年度提案結果

#### 【取組状況】

平成 5年 10月	広島空港開港
平成 12年 10月	ターミナル地域拡張工事に着工
平成 13年 1月	滑走路3,000mの供用開始
平成 15年 7月	計器着陸装置の高度化（CAT- a）事業着手
平成 16年 3月	ターミナル地域拡張工事の完了
平成 16年 10月	計器着陸装置の高度化（CAT- a）工事着手

#### 【前年度提案結果】

航空サービス高度化推進事業（全国枠国費） 17,148百万円（対前年度比101.4%）  
・計器着陸装置の高度化（CAT- a）事業：航空サービス高度化推進事業において措置済

## 提案の内容

### 広島空港の計器着陸装置高度化(CAT- a)事業の早期供用開始を図ること

遅延・遅着を含めた定時率は90%台半ば(平成8年度～平成18年度)となっており、視程不良による欠航・ダイバートで、年間約2.7万人の航空利用者が影響を受けていることから、CAT- a事業の平成20年度早期での供用開始を図ること。

### 国際定期路線拡充のための航空交渉の促進を図ること

国際航空ネットワークの拡充を図るため、既設路線の運航便数の増加、特に中国・台湾路線の輸送枠拡大や新規路線の開設に向け、航空交渉等において必要な条件整備を促進すること。